

スペイン. 文学の旅

訳例と解答例

11. はたご屋『猫』(3), p.27

最後まで残っていた人々も行ってしまうと、私はスケッチをたたんでかばんの中にしまい、手をたたいて給仕を呼び、わずかな額の払いを済ませて、もう立ち去ろうとしていた。そのとき、誰かが私の腕をそとつかむのを感じた。それは私が絵をかいている間よく私の方を興味津々と見ていたギターのアンプの奏者であった。

「だんなさん」彼はできるだけ穏やかな調子で呼びかけてきた。「少々お願いがあるのですが」

「お願いですって！」私は彼の望むものが何かわからないまま叫んだ。「何なりとおっしゃってください。私にできることでしたらお安いご用です。」

*L.7. con un acento は「訛りのある」という意味では？

→ここでは que 以下の関係節で修飾された「調子」という意味にとりました。

*L.9. cuáles podrían ser...の訳の仕方がわかりません。

→podrían は過去のことを推量しています。そして、puede ser は「…でありうる」という意味になります。cf..英語 may be.

*L.10. que の働きは？

→接続詞で、「理由」をさします。本来なら Dida usted, que...となりますが、ここでは「理由」の que が si の文で始まるので、Dida usted, que, si...となって que が孤立しないように前の文につながっています。

●EJERCICIO, p.28

(1) フアン、電話ですよ！ーいま行きます。

(2) 銀行で円を両替してくれます。(☆(2)の te も一般人称なので訳さない)

* (1) llaman は「呼んでいる」でも○。